



## 平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月4日

上場会社名 寿スピリッツ株式会社  
コード番号 2222 URL <http://www.kotobukispirits.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河越 誠剛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画部部長 (氏名) 松本 真司

TEL 0859-22-7477

四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	29,615	7.5	4,318	15.7	4,348	15.7	2,841	6.0
30年3月期第3四半期	27,546	15.8	3,730	29.4	3,760	29.4	2,681	49.9

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 2,821百万円 (4.6%) 30年3月期第3四半期 2,697百万円 (49.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	91.32	
30年3月期第3四半期	86.18	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	24,160	17,203	71.2	552.82
30年3月期	22,276	15,471	69.5	497.16

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 17,203百万円 30年3月期 15,471百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		35.00	35.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,600	8.6	5,800	15.7	5,850	15.9	3,820	8.1	122.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	31,121,520 株	30年3月期	31,121,520 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	1,863 株	30年3月期	1,798 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	31,119,697 株	30年3月期3Q	31,119,870 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、緩やかな景気回復基調で推移した一方で、個人消費は先行き不透明な状況が続いております。また、業種・業態を超えた競争の激化や物流コストの上昇、更に、全国各地で観測された豪雨や記録的な猛暑、大型台風の上陸や地震発生などの自然災害により、業績面においてマイナス影響を受けるなど、厳しさが増す環境下で推移いたしました。

このような環境の中、当社グループは、『超絶 WSR!! (※)』を2018年経営スローガンに掲げ、『超現場主義の徹底実践』をテーマに、お客様により一層喜んでいただける魅力溢れる商品及びサービスの提供に努めてまいりました。また、製造ライン、店舗、営業部門の現場中心の経営スタイルを一段と高め、商品力・販売力・営業力、売場力のレベルアップに引き続き注力してまいりました。更に、当面の重点施策であります「インバウンド対策の強化」、「海外展開（海外における事業モデルの構築）」、「首都圏でのWSR化展開の推進」、「プレミアム・ギフトスイーツの創造と育成」の施策遂行に対処してまいりました。店舗展開では、物販にカフェ・工房を併設したハイブリット型店舗の出店強化に取り組みました。

これらの取り組みの結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は29,615百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益は4,318百万円（前年同期比15.7%増）、経常利益は4,348百万円（前年同期比15.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,841百万円（前年同期比6.0%増）となりました。

※ WSR（ダブルエスアール）とは、グループ経営基本方針として平成27年に掲げた経営スローガン『ワールド サプライジング リゾート (World Surprising Resort) 宣言』の略称であり、商品・店舗・接客・営業活動など、あらゆるビジネスのシーンで「世界へ、ありえないほどの驚きの、非日常（超感動）を提供する」という意味が込められています。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

## ① ケイシイシイ

ケイシイシイは、「小樽洋菓子舗ルタオ」の20周年キャンペーン展開及び新ブランド展開に注力いたしました。新規出店では、昨年4月にルタオ本店前に「デニルタオ」、6月に「フワトロワ」阪急うめだ本店、10月に「グッドモーニングテーブル」高島屋大阪店、11月に「ナウオンチーズ」ルミネ新宿店をそれぞれ出店し、海外では中国・上海に「ルタオ」を出店いたしました。また、物流コスト増加に対応すべく昨年4月に関東に物流センターを設置いたしました。業績面では、昨年9月に発生しました北海道胆振東部地震のマイナス影響を受けたものの、道内店舗や国際線ターミナル免税エリアでの販売好調などにより、売上高は8,304百万円（前年同期比1.0%増）となり、営業利益は986百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

## ② シュクレイ

シュクレイは、「東京ミルクチーズ工場」、「ザ・メープルマニア」、「フランセ」、「バターバトラー」など主力ブランドの更なる認知度向上を図るため、既存店舗の強化、新規出店及びリロケーション、催事・卸展開の推進に注力いたしました。新規出店では、昨年6月に「フランセ」表参道本店、12月に新ブランド「メープルダイナーバイザ・メープルマニア」小田急新宿ミロード店など計10店舗の新規出店を行いました。その結果、売上高は9,802百万円（前年同期比17.6%増）、営業利益は1,432百万円（前年同期比53.5%増）となりました。

## ③ 寿製菓・但馬寿

寿製菓・但馬寿は、グループ各社及び代理店との連携強化により、主力商品及び「サンドクッキー」などの新商品の育成に注力いたしました。地元山陰地区では、昨年9月、出雲大社神門通りに「カノザ」大社店をオープンいたしました。売上面では、グループ全体における製造キャパシティ拡大の観点から、グループ向け製造売上の一部を他のグループ製造拠点に移管した影響により、グループ向け売上が減少いたしました。その結果、売上高は8,028百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益は1,047百万円（前年同期比6.6%減）となりました。

## ④ 販売子会社

販売子会社は、駅、空港、SA・PAなど交通拠点チャネルを中心に、主力商品及び新商品の売場拡大、リロケーションなどの提案営業の強化に注力いたしました。新規出店では、関西地区において昨年4月に「コンディトライ神戸」神戸マルイ店、10月にJR京都駅にインショップ「本家佳長」京店、東海地区では11月に伊勢神宮内宮前おはらい町通りに三重寿庵のインショップをオープンいたしました。その結果、売上高は4,394百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は369百万円（前年同期比5.3%増）となりました。

⑤ 九十九島グループ

九十九島グループは、早期の業績回復に向け「ラングドシャ」ラインの新設によるグループ向け売上の拡大及び新商品開発の強化に注力いたしました。新店舗では、昨年6月に長崎空港内に「#99スイーツアベニュー」及び東京・ららぽーと立川立飛に「アイポリッシュ立川」、11月にマークイズ福岡ももちに「アイポリッシュ福岡ももち」を出店いたしました。また、昨年10月にカスタードスイーツ専門店「アイラブカスタード ヌフヌフ」博多デイトス店をリブランドオープンいたしました。その結果、売上高は2,684百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益は41百万円（前年同期は営業損失125百万円）となりました。

⑥ その他

その他は、損害保険代理業、健康食品事業、海外（台湾）における菓子事業が含まれており、売上高は172百万円（前年同期比33.4%減）となり、営業損失は109百万円（前年同期は営業損失41百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、24,160百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,883百万円増加いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加（1,473百万円）、商品及び製品の増加（317百万円）、機械装置及び運搬具（純額）の増加（282百万円）、建物及び構築物（純額）の増加（274百万円）、流動資産におけるその他の増加（243百万円）、現金及び預金の減少（1,222百万円）などの要因によるものです。

負債は6,956百万円となり、前連結会計年度末に比べ151百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加（468百万円）、賞与引当金の減少（306百万円）、長期借入金の減少（180百万円）などの要因によるものです。

純資産は17,203百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,732百万円増加いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加（2,841百万円）、配当金の支払いによる減少（1,089百万円）などの要因によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.7ポイント増加の71.2%となり、1株当たり純資産は552円82銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、前回公表数字（平成30年5月14日付「業績予想の修正に関するお知らせ」）から変更いたしておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,748,855	3,526,139
受取手形及び売掛金	4,130,407	5,603,565
商品及び製品	1,242,443	1,559,552
仕掛品	50,847	96,845
原材料及び貯蔵品	487,416	598,902
その他	269,810	513,518
貸倒引当金	△4,797	△810
流動資産合計	10,924,981	11,897,711
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,832,521	4,106,983
機械装置及び運搬具(純額)	2,141,289	2,424,186
工具、器具及び備品(純額)	388,399	442,787
土地	2,857,139	2,887,139
リース資産(純額)	5,243	3,292
建設仮勘定	90,552	106,694
有形固定資産合計	9,315,143	9,971,081
無形固定資産	113,800	153,738
投資その他の資産		
その他	1,934,295	2,144,326
貸倒引当金	△11,330	△6,750
投資その他の資産合計	1,922,965	2,137,576
固定資産合計	11,351,908	12,262,395
資産合計	22,276,889	24,160,106
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,199,279	1,667,371
1年内返済予定の長期借入金	260,396	240,396
未払金	1,165,732	1,299,027
未払法人税等	804,794	780,324
賞与引当金	709,200	402,868
ポイント引当金	13,879	27,510
その他	754,259	725,520
流動負債合計	4,907,539	5,143,016
固定負債		
長期借入金	432,746	252,449
退職給付に係る負債	1,284,195	1,372,801
その他	180,870	188,294
固定負債合計	1,897,811	1,813,544
負債合計	6,805,350	6,956,560

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,217,800	1,217,800
資本剰余金	1,323,161	1,323,161
利益剰余金	12,917,154	14,669,890
自己株式	△1,758	△2,063
株主資本合計	15,456,357	17,208,788
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,459	18,385
為替換算調整勘定	△6,698	△11,144
退職給付に係る調整累計額	△14,579	△12,483
その他の包括利益累計額合計	15,182	△5,242
純資産合計	15,471,539	17,203,546
負債純資産合計	22,276,889	24,160,106

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	27,546,948	29,615,863
売上原価	11,939,355	12,429,785
売上総利益	15,607,593	17,186,078
販売費及び一般管理費	11,876,734	12,867,903
営業利益	3,730,859	4,318,175
営業外収益		
受取利息	954	651
受取配当金	4,094	5,010
受取地代家賃	14,200	14,052
保険解約返戻金	—	21,826
その他	32,034	22,169
営業外収益合計	51,282	63,708
営業外費用		
支払利息	3,987	2,253
持分法による投資損失	9,849	16,560
その他	8,023	14,126
営業外費用合計	21,859	32,939
経常利益	3,760,282	4,348,944
特別利益		
固定資産売却益	75,468	659
特別利益合計	75,468	659
特別損失		
固定資産除却損	9,719	19,487
災害による損失	—	37,543
特別損失合計	9,719	57,030
税金等調整前四半期純利益	3,826,031	4,292,573
法人税等	1,144,193	1,450,647
四半期純利益	2,681,838	2,841,926
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,681,838	2,841,926

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	2,681,838	2,841,926
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,677	△18,074
為替換算調整勘定	1,526	△4,148
退職給付に係る調整額	△546	2,096
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,131	△298
その他の包括利益合計	15,526	△20,424
四半期包括利益	2,697,364	2,821,502
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,697,364	2,821,502

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前当期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	ケイシー シー	シュクレイ	寿製菓・但馬 寿	販売子会社	九十九島 グループ	計
売上高						
外部顧客への売上高	7,507,205	8,215,302	5,053,626	4,234,472	2,277,298	27,287,903
セグメント間の内部 売上高又は振替高	712,571	117,283	3,255,186	24,842	289,595	4,399,477
計	8,219,776	8,332,585	8,308,812	4,259,314	2,566,893	31,687,380
セグメント利益 (△は損失)	977,072	933,714	1,121,189	350,649	△125,297	3,257,327

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	259,045	27,546,948	—	27,546,948
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,399,477	△4,399,477	—
計	259,045	31,946,425	△4,399,477	27,546,948
セグメント利益 (△は損失)	△41,876	3,215,451	515,408	3,730,859

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業及び健康食品事業並びに海外(台湾)における菓子事業が含まれております。
2. セグメント利益(△は損失)の調整額515,408千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額977,564千円、セグメント間取引消去額22,989千円、たな卸資産の調整額△39,128千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△446,017千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。
3. セグメント利益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	ケイシイ シイ	シュクレイ	寿製菓・但馬 寿	販売子会社	九十九島 グループ	計
売上高						
外部顧客への売上高	7,950,540	9,674,707	5,483,301	4,379,574	1,955,218	29,443,340
セグメント間の内部 売上高又は振替高	353,680	127,564	2,544,932	14,516	729,676	3,770,368
計	8,304,220	9,802,271	8,028,233	4,394,090	2,684,894	33,213,708
セグメント利益 (△は損失)	986,384	1,432,902	1,047,324	369,168	41,811	3,877,589

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	172,523	29,615,863	—	29,615,863
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,770,368	△3,770,368	—
計	172,523	33,386,231	△3,770,368	29,615,863
セグメント利益 (△は損失)	△109,835	3,767,754	550,421	4,318,175

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業及び健康食品事業並びに海外(台湾)における菓子事業が含まれております。
2. セグメント利益(△は損失)の調整額550,421千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額1,020,456千円、セグメント間取引消去額20,045千円、たな卸資産の調整額△38,618千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△451,462千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。
3. セグメント利益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。